

# さがみはら 市史編さんだより 第17号

2004.3.2

## 関東ローム層に秘められた情報とは

関東ローム層は、火山灰が降り積もり土壌化したもので、地表近くでは黒土、その下では赤土となっており、厚さは、市内淵野辺付近で18m程にも及んでいます。この黒土の部分から発見される縄文時代以降の石器や土器、さらに赤土の中から発見される旧石器時代の石器が、人類の活動に関する情報をもたらすことは良く知られています。しかし、関東ローム層が秘めている情報は、それだけではありません。

写真は、市内下溝での「自然編」調査の様子です。このときの調査では、上下方向に5cmまたは10cm刻みに、245点の関東ローム層の試料を採取しました。この試料採取の目的は、その中に含まれる植物珪酸体(けいさんたい)を調べることにより、気候変動などを明らかにすることです。

植物珪酸体とは、植物細胞の中にたまる珪酸の塊で、顕微鏡で見なければならぬほど小さなものですが、酸性の赤土の中でも残りやすい性質があります。また、植物の種類によって特徴的な形をしているため、温暖な気候を好む植物の珪酸体が多いか、寒冷な気候を好む植物の珪酸体が多いかなどを分析することで、寒暖の変化を知ることができるのです。縄文時代が、温暖化の進んだ時代であったことは、ご存知の方も多いと思いますが、気候変動は人類にも大きな影響を与えたものと考えられます。そして、その変動パターンを知ることによって、ほかの方法による年代測定が苦手とする部分を補うことができると期待されています。



試料採取の様子(市内・下溝)

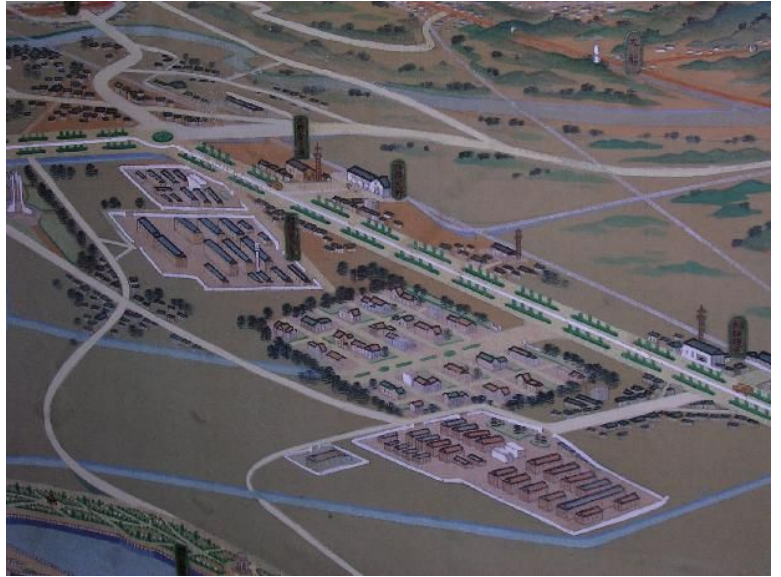
では、なぜ相模原で、そのような研究をしようとするのでしょうか。それは、富士山や箱根山の噴火が、休みを挟みながらもずっと続いてきたことによります。つまり、関東ローム層に秘められた情報を丹念に分析することによって、連続した気候変動の様子を知ることができるのです。この点で、相模原台地は日本列島の中でも貴重な地域であり、関東ローム層の研究は、相模原の特徴を生かしたものであると言えます。(副主幹 井上 明夫)

ちょうかん

## 鳥瞰図の作者が判明

今年1月発行の「市史編さんだより第16号」で、「市が所有する『相模原市構想鳥瞰図』の作者が不明」との記事を掲載したところ、「描いたのはこの人では」との情報が寄せられました。

作者は「大正広重」と言われた鳥瞰図作者吉田初三郎の門下生の中村治郎（慈郎）（1908(明治41)年生まれ）です。中村氏は長い間、初三郎鳥瞰図の作成に携わった後、1946(昭和21)年に独立、昭和30年代に活躍し、山梨・長野方面の鳥瞰図を多く残しています。鳥瞰図の研究者は、図の落款（作者の署名）から、作者は中村治郎と断定できると話しています。



鳥瞰図・部分(相模大野周辺)



## 現代編探訪 5 相模原市青年の家跡

相模原市の工業は戦後、駐留軍の基地関連産業として成長してきましたが、朝鮮戦争停戦協定後は駐留軍関係者の解雇が相次ぎ、基地依存からの脱却が緊急の課題となっていました。

1955(昭和30)年には、「相模原市工場誘致の奨励措置に関する条例」(通称「工場誘致条例」、1961年廃止)が制定され、市内にはさまざまな業種の大規模工場が進出してきました。工業都市となった相模原を、集団就職等で市外から移り住んできた青年層が支えました。1955年から1965年の10年間に、総人口が1.95倍増加したのに対して、15~24歳の人口は2.35倍に増えています。

「相模原市青年の家」は、勤労青少年のための宿泊研修施設として、1968(昭和43)年5月、緑豊かな当麻山無量光寺の境内に設置されました。仲間づくり、ふるさとづくりを目的に集まった青少年たちは、野外炊事やキャンプファイヤーなどのプログラムを通じて交流を深めていきました。たくさんのボランティアが活躍し、活気にあふれる施設でしたが、他の教育施設の設立や青少年の生活スタイルの変化に伴って、1998(平成10)年に廃止されました。(調査員 小田原 滯)



## 前市史編集室の

### 写真から 15

今回は 1966(昭和 41)年 12月に撮影された、中央地区の市民会館前の写真です。

この前年に開館した市民会館には、客席数 1270 席の大ホールや会議室などがあります。開館当初は、図書館(1974(昭和 49)年に鹿沼台に移転)や結婚式場(2003(平成 15)年廃止)のほか、市史編集室もありました。

大ホールでは敬老会など市の事業のほか、音楽、演劇、映画等の催し物が開かれています。また、かつてはテレビ番組の公開放送なども行われ、昭和 40年代にはTBSテレビの人気番組「8時だヨ!全員集合」の公開録画の会場にもなりました。

下の写真は 2 年前の夏に撮影したのですが、歩道のけやきの木の成長ぶりには、驚かされます。

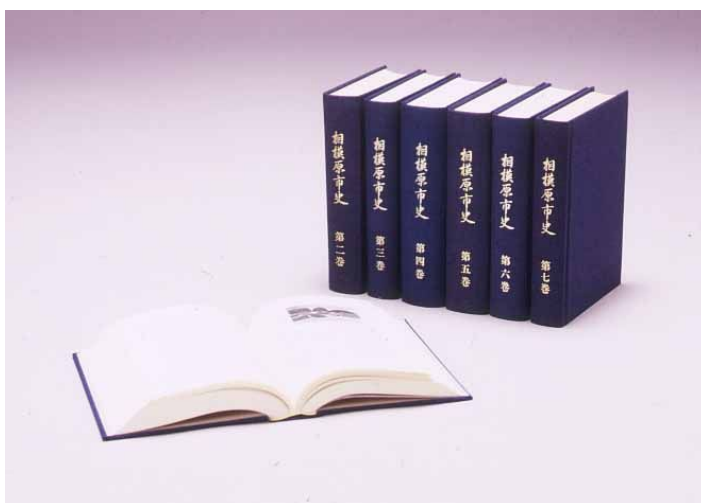


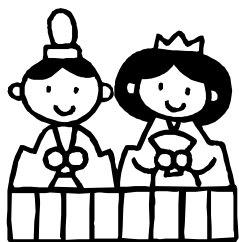
(主任 方波見 淳)

## 相模原市史全 7 巻を割引販売

平成 16 年 4 月 1 日からの 1 年間、市制 50 周年を記念して相模原市史 7 巻セット(写真)を特別価格 1 万円にて販売します(通常価格 2 万 1300 円)。限定 100 セットとなりますので、この機会にぜひ購入をご検討下さい。

予約は受け付けておりませんので、4 月 1 日以降、直接市史編さん室、または市役所行政資料コーナーへどうぞ!





## 編さん室の動き (1月～2月)

月	日	内 容
1	6	市史編さんだより第16号発行 民俗部会開催
	7	現代図録部会開催
	12	関東ローム層試料採取(下溝ほか、13日ほかにも実施)
	14	県政情報センター(横浜)へ資料調査
	15	現代図録編打合せ
	16	景観写真撮影(田名)
	23	神史協研究会へ参加(寒川町)
	28	現代図録部会開催
	29	市制50周年記念展について博物館と打合せ
2	5	廃棄予定公文書抜き取り作業(本庁書庫)
	11	現代図録部会開催
	12	自然部会開催 東急建設株式会社地下実験施設視察(田名)
	19	神史協研修会へ参加(東京大学史料編纂所・同博物館)
	23	県立公文書館へ図書資料引取り
	25	現代図録部会開催
	26	横須賀市自然・人文博物館に資料調査

### 「さがみはら市史編さんだより」第17号

発 行 平成16年3月2日

編 集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp